



# 千歳セントラルロータリークラブ

## ROTARY INTERNATIONAL District 2510

### RIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」

発行 千歳セントラルロータリークラブ 会長 高木昌人 / 副会長 佐々木俊英 / 幹事 大下和志 / 会報委員会 委員長 小松義徳  
 〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 4-4 ホテルグランテラス千歳 TEL.0123-26-5788 FAX.0123-25-9112  
 Mail.membership-office@ccrc.jp URL.http://www.ccrc.jp Facebook.http://www.facebook.com/chitosecentral

#### WELCOME 副会長 佐々木俊英

- 井内 聖 様 安平町復興ボランティアセンター  
センター長
- 松倉 みか 様 千歳市議会議員
- 高遠 修一 様 (株)興栄製作所 代表取締役
- 勝俣 雅代 様 フローリッシュ 代表
- 曾我部 喬 様 (-社) 千歳青年会議所 理事長
- 今井 涼 様 " 専務理事
- 土門 哲也 様 " CHITOSE ブランド発信委員会
- 高山 和宏 様 RI 第 2510 地区社会奉仕委員会 委員長  
札幌東 RC
- 井溪 利光 様 千歳 RC  
青少年育成委員会 委員長
- 吉岡 毅 様 千歳 RC  
青少年育成委員会 副委員長

例会出席状況 (2019 年 8 月 6 日)	
会員数	43 名
会員出席者数	27 名
欠席者数 (内:無断欠席)	16 (0) 名
出席率	62.79 %
ゲスト・ビジター出席者数	10 名
出席者数総計	37 名

前回例会 確定出席率 (2019 年 7 月 23 日)	
確定出席率 (MU 含む)	62.79 %

#### 会長あいさつ 会長 高木昌人

皆さんこんにちは。本日もイロイロなご事情がある中をこの時間この場所をお選びいただきありがとうございます。今日はオープン例会として会員以外の方々にもご出席を頂いております。ようこそ千歳セントラルロータリークラブの例会にお出でいただきました。会員一同歓迎申し上げます。

あと一ヶ月で早いもので一周年を迎えることとなりますが、昨年 9 月 6 日の午前 3 時 7 分 59, 3 秒…あの北海道胆振東部地震…まだまだ皆さんの記憶にも残っている



るかと思えます。  
 あの時、皆さんはどうされてたでしょうか？  
 僕は…まずはびっくりして目が覚めて…起きて家族の安全を確認し、…車で移動している最中に信号機や街灯の電気が落ちて、ただ事ではないことは想像できましたが、職場に着くとまあまあの散乱状態でさらに驚きました。  
 朝方になって近所に住んでいる幼馴染が「おーい！大丈夫かい？」って声をかけてきてくれました。  
 JCやロータリーに関わってそろそろ 20 年経つわけですが、あまりにも自分の無力さを痛感させられました。  
 せめてその友人に声をかけてもらうよりも先に声をかけにいけなかったのを今さらながら恥じております。  
 今度こそ…同じような、あるいはさらに想定できないよう

な事態が生じた際に、自分は何が出来るか…今日はそのヒントを頂けそうな方を講師にお迎えしております。自分を含め皆が井内さんのようなスーパーマンにはなれるわけではありませんが、せめてそのような事態で何か機能できる人間でありたい…そんなことを願っています。

震災はきっとまた起こります。我々人間は過去の歴史から何かを学んで日々成長しております。本日の例会宜しくお願いします。

## ビジターごあいさつ

### 国際ロータリー第 2510 地区社会奉仕委員会 委員長 高山和宏 様



今日は大下幹事からご案内をいただきまして参加することが出来本当に嬉しい限りです。実は今日こちらに着くのが遅くなったのは、安平町さんと仮設住宅の談話室にエアコン

をつける支援について、ちょうど打ち合わせをしておりました。当初はお盆明けぐらいでなければ対応出来ないという事でしたが、今朝電話をいただき明日には急きよける事が出来る様になったという連絡があり事務作業をしていた関係でこちらに来るのが遅くなってしまいました。申し訳ございません。例会後も安平町役場に向かい具体的なお話をさせていただき予定です。昨年の胆振東部地震の後、地区に集められた支援金が地区内のクラブだけではなく、国内、国外はタイ・台湾からも支援金をいただいております。皆さんの気持ちのこもったお金をどう使っていか、どう上手く活用していかか私の役目だと思っております。今までは西日本豪雨だったりとお金を出そうという立場でしたが、初めてロータリーアンから支援金をいただくという立場になりその責任の重さを感じています。ガバナーやガバナー補佐の方々、会員の方々からいろいろとご意見をいただく中で、ロータリーらしい支援とはどういうものかという事をきちんと考えてやっていきたいと思っております。ただお金を右から左に寄付するという事ではなく、現状をきちんと理解した中で何が必要とされているのか、今何が出来るのかを考えた上できちんとした対応をしていきたいというのが大前提だと考えています。それから、中には支援金が残っているという事を心配されて早く使ってしまった方がいいのではないかと直接言われる偉い方もいらっしゃるのですが、私は少し考え方が違っています。やはり忘れない事、支援を続ける事、昨年の状況と今年の状況は一番被害が大きかった胆振東部 3 町は違います。忘れずにその情報を共有しながら何が出来るのかという事を出来れば継続的な支援をしたいと考えております。私として

はそういう気持ちでやっているという事をこの場を借りて皆様にご報告申し上げます。千歳セントラルロータリークラブさんもいろいろな奉仕活動をやられていると思いますが、地区社会奉仕委員会も何かバックアップ出来る事があるかもしれません。折角の機会ですので初めて例会に伺いましたがこの機会をスタートにしていい形にして奉仕活動に繋げていければ良いと思っております。今日はどうもありがとうございます。

## 幹事報告 幹事 大下和志

- 防災講話事業「震災はきっとまた起こる」出欠確認
- 次回例会 (8 月 20 日)「納涼例会 in 千歳盆踊り」出欠確認と千歳ローターアクトクラブ出店お手伝いの確認
- 地区大会 本日中午にご記入願います。
- 安平町立早来中学校にプロジェクターを寄贈し感謝状をいただきました。
- 事務局夏期休業のお知らせ  
8 月 13 日 (火) ~ 15 日 (木)

## 各委員会連絡・報告

### 雑誌委員会 委員長 白木松敏

今回も我がクラブの方々が活躍されている内容が地域情報紙に掲載されています。7 月 29 日 (月) 千歳民報。坂井治さんが会長を務める「みんなをつなげる会」が障害のある方との交流を深めましたという事で 40 人参加されております。8 月 1 日 (月) 千歳民報に早来中学校にプロジェクター 2 台を寄贈された記事が掲載されております。会長の写真も掲載されています。続いて私が会長を務める「千歳安心な街づくり協議会」。今年で 4 回目を迎える千歳歓楽街夏まつりが開催されたという事で、ちゃんとさんに掲載されております。皆様のお手元にロータリーの友 8 月号が配布されております。P24 に今月米山記念奨学委員会 坂井会員の担当例会が行われますが、それに関する内容が掲載されていますので 27 日の例会前に目を通していただきたいと思います。



### 社会奉仕委員会 委員長 金澤 努

先日メールで発信させていただきましたが、継続事業でありますロータリーふれあい農園の雑草取りを兼ねまして状況確認を行いたいと思っております。菅原百合子直前会長のお父様の一助にもなるかと考えていますので、宜しくお願い致します。都合がつく方は 8 月 8 日 (木) 13 時

30 分にロータリー農園に集合していただきたいと思ひます。時間は 30 分程度を予定してあります。お暑い中、大変恐縮ではございますが多数のお集まりを宜しくお願い致します。



## ニコニコ BOX

**進行：ニコニコ箱委員会 委員長 白田 暢**

一般社団法人千歳青年会議所の皆様より事業協力のお礼としてニコニコしていただきました。卓話のお礼、記事掲載などご協力有難うございました(^^) / 大下和志会員、坂井 治会員、高木昌人会員、白木松敏会員



本日のニコニコ BOX 合計額	8,000 円
今年度 累計額	100,098 円

## 本日の例会プログラム

通常例会

**「防災講話事業**

**卓話“震災はきっとまた起こる”**

講師 安平町復興ボランティアセンター

センター長 井内 聖様

担当/理事会 (進行担当：幹事 大下和志)

本日の講師 井内聖様のご紹介はプロジェクト寄贈報告の裏に載せてありますので割愛させていただきます。それでは井内様、宜しくお願い致します。

## 卓話

講師

安平町復興ボランティアセンター センター長 井内 聖 様

**【学校法人リズム学園 学園長、はやきた子ども園 園長】**

まず初めに昨年の 9 月 6 日以来、安平町をはじめ被災 3 町に多大なるご支援をいただきました事、また早来中学校にプロジェクトを寄贈していただきました事、改めて御礼申し上げます。本当に有難うございました。

今日は何を話そうかと思ひましたが、高校生に話す話と違って実際起きていた事と、ロータリーですので皆さん恐

らく自分の会社など経営されていると思ひますので、そういった時に実際どうなのか、という話をさせていただきたいと思ひます。

実は地震の時、お泊まり会をやっていました。なので園に子供がいました。たまたまですが私が子供に付く番が 2 時から 6 時まででした。ちょうど子供について子供たちが体育館で寝ていました。下から大きくドーンと来た後、大きな揺れが来ました。今回震度は 7 ですが、6 強、7 は四つん這いが精一杯です。立ち上がれないという事がわかりました。そして私と男性の副園長二人共、揺れが収まったとき同じ事を考えました。亡くなった方が出たろうと。皆さんが千歳、もしくは札幌などで被災され大きな揺れだったと感じたとは思ひますが、揺れが収まった瞬間に亡くなった方が出たろうとはお感じにならなかったかもしれせん。実際、厚真、安平、鶴川の方々は亡くなった方が出たのではと感じる揺れでした。その後子供たちの安全を確認しましたが、体育館でしたので倒れてくる物も落ちてくる物も無く大丈夫でしたが電気が止まりました。マニュアルでは、すぐに保護者と連絡を取って迎えに来て下さいというのがマニュアルです。電気がありません。親が生きているかどうかわかりません。状況が全く分からない中、スマートフォンは生きていました。メールで連絡をしました。思ひました。電話は使い物になりません。電話線が切れたらおしまい。それとスマートフォンの電話はつながりにくいです。直後はメールがあつて良かったと思ひました。「全員無事です」の一報を流しておしまいです。子供たいはどうだったかという、揺れでは起きません。それは 5 歳ぐらいの子供は本気で寝ると揺らしても起きません。地震速報と防災無線で目を覚ました。私と副園長は暗黙ですが常に笑顔でした。子供に「怖いね、大丈夫？」と聞くと怖いと言ひます。「ちょっと揺れたね、けど平気だね」と言うと平気だねと言ひます。心臓はバクバクしながらちょっと揺れたけどみんな一緒だから大丈夫だねと言ひました。担任の先生方にも絶対に笑顔でいてね、そしてぐちゃぐちゃな園内は絶対に見せないと言ひました。それが心の傷になります。ぐちゃぐちゃな職員室でどうしようかと考え選択は一つしかありませんでした。子どもを引き渡さない。帰せる状況にはありません。(中略)

安平町はこの大地震を想定していませんでした。何故なら地震発生確率が 30%以下で、企業誘致の謳い文



句は地震がない、台風も来ない、津波も来ない、災害がない、だから企業の工場を建てませんかと言っていた町でした。まさかうちの町が直撃になるとは思いませんでした。第 1 報は震源地が安平と出ました。その後厚真さんに訂正されます。3 時 8 分に地震が起きて、3 時 40 分にメールを流して園を避難所として開放しました。安平町が避難所を開くより先です。何故なら直撃でしたが建物は大丈夫でした。たまたまですが、自然体験を中心とする園でしたので発電機もありましたし、園庭に井戸を掘っていて水もありました。もしこの状況で家にお母さんと 0 歳児だけだったらどうしているだろう。解放したところ地域の 50 人ぐらいが避難してきました。中には足の悪いおばあちゃんが家にいると不安なので歩いて来ました。その後 4 時過ぎに町の避難所が開かれました。自主避難所は支援の手が届きにくいので、公設の避難所に移ってもらいました。他にもたくさんいろいろな事がありました。今回被災をして、片付けをして、これからどうしようかと考えていた時です。朝になって最後まで迎えに来れなかった家庭がありました。両親が安平町役場で勤務している家庭です。またこんなこともありました。迎えに来たお母さんからいつから子供を預かってもらえますかと聞かれました。お父さんが医師、お母さんが看護師でした。今年の夏、熊本の園長先生からこんな話も聞いていました。PTSD（心的外傷後ストレス障害）になるのは、家にいるお子さんの方が多かったです。家にいるとテレビでは地震の映像しか流れない。新聞には地震の記事しか書いていない。そして余震が来る度に家の物が倒れる。本当は家が一番安全な場所なのに、その安全な家が一番怖い場所になってお母さんが家で泣いている。自分は外に出られず遊びにも行けない。そういう話も聞いていたので副園長の先生方と話し、園を再開しようと決めました。水はありましたが、地震で水の通り道が変わり一度枯れました。発電機もガソリンが無ければ只の箱です。水も電気も無い。調理室も調理が出来る状況ではない。だけど開けよう。ここで子供を預からないとまずは町の災害復旧が出来ない。その頃の安平町役場の方は 20 時間勤務、4



時間休憩というシフトでした。

それともう一つは復興には 10 年かかると言われています。その復興を担うのが子供たちの筈なのにその子供たちに心の傷を残すわけにいかない、だから開けようと言いました。決めたのは良いのですが先生がいません。理由は簡単で全員被災者だからです。皆さんの会社が大きな災害が起きた時に会社をどうしようかと思った時に来れる状況だといいです。大きな地震の時にはまずマニュアルが役に立ちません。人がいません。うちが取った手段は SNS です。Facebook を使いました。全道、全国に向かって保育士さん、幼稚園の先生ボランティアで来てくれませんかと呼びかけました。これはネットの時代に本当に有難い事だと思いました。私が出した投稿が拡散して震災から 2 日後、園を開ける時には約 50 人の先生方が来てくれました。動けなかったのは学生です。学生が動けるかと思い大学の先生と連絡を取りましたが駄目でした。理由はわかりやすく、大学の先生から学生の安全が保障できない、まだ余震も続いていて携帯電話も繋がりがづい、電気も水も無いところに大学として学生を送る訳にはいかなと言われてました。当然です。直後は高校生・大学生は動けない事が多いです。千歳は移動手段が比較的あるかもしれませんが、安平町だとしてどうやって来るのかという話になります。たまたま恵庭にも幼稚園を持っていたので、恵庭から幼稚園のバスを使って札幌からボランティアの方々の送迎などしました。一番遠くから来て下さったのは沖縄、そして宮城、愛知、全国から幼稚園の先生、保育士さんが来て下さいました。最初にボランティアを受け入れてやっていた事もあり、ボランティアセンターを運営する時に町とリズム学園が一緒になってやりました。先日話をしてきましたが、今回千歳社会福祉協議会さんに大変お世話になりました。立ち上げる時コピー機すらなく、その時に千歳社協さんがコピー機を使っていいです



よと持ってきてくれました。千歳社協さんは人がいっぱいいていいなと思いました。災害ボランティアセンターを安平町に立ち上げたとき役場から来てくれた人は 0 人です。社会福祉協議会は 2 人です。何千人というボランティアを回すのは不可能なのでリズム学園として法人から 9 人出して運営していきました。

今回災害があつたままですが、良かった事があります。ペーパーレスにしている良かったです。先生方にはまた大きな余震が来たら身体一つで逃げて良い。持って逃げなければいけない書類はないと言いました。これは岡山の先生に聞いていました。紙の書類は水害に遭うと全部駄目になります。もう一つ、データを全てクラウドに上げて良かったです。電気が止まったらサーバーが止まって引き出せません。インターネット上にデータがあれば繋がりさえすればどうにかかります。水、電気と同じようにインターネットはライフラインの一つです。なので復旧が早いです。もしかしたら水、電気のような物理的なものがない分、インターネットの方が復旧が早いかもしれません。もう一つ、現金を止めて電子マネーにしていました。先生に言いました。持って逃げなければいけない大金はうちの職場にはない。実際に物を持つ、管理しているのは災害の時にリスクになるという事がわかりました。会社を経営されている方がいると思いますが、取引先との情報や現金をどのように扱っていくかは課題になるかもしれません。被災者の中には傾いた家の鍵が壊れて家を空けられないので避難所に行けないという人がいました。もし皆さんの会社の建物が被害に遭い鍵が掛からない状況で、大事な書類があり銀行もやっていない時、さてどうしましょうか。そういう見方からも防災対策があるかもしれません。

皆さん方の場合は、社員さんがどうかという事もあるかと思ひます。何かあつた時に集まって来られるかどうか。ロータリークラブに入られているので恐らく地域の中で重要なポジションを担われていると思ひます。その時に自分はどちらで動くのだろうか。地域で動くのか、会社で動くのか。こういった事も頭の片隅に置いておくと良いと思ひます。

そして、災害時は地域の力が試されます。

避難所の運営は自治会の差がはっきり出ます。普段から活動が盛んなところは避難所が非常に良い雰囲気です。もう帰りたくないというおばあちゃんがいる避難所もあれば、小学生を持つお母さんはあの避難所にはいたくないと帰る方もいました。大人のいがみ合いを子供に見せたくないという避難所もありました。違いは何か。普段の自治会町内会活動がそのまま出ています。地域で活動をされている方がいると思ひますが、地域の活動は最後に何かあつた時に生きるのだと思ひました。上手くいかない避難所は、全員がリーダーシップを発揮する場合と決まった事に後から文句を言うパターンです。船頭多くして

船山に上るといふ言葉があります。そして残念だと思つたのは、普段から物事に対して批判・文句を言う方はやはり、震災時もそういった声が出ます。その代わりその方々は動きません。それがわかりました。

私が震災で学んだ事が 2 つあります。

一つは、話し合いは意味が無い。話し合い自体に意味が無いわけではありせん。話し合っているだけでは意味が無いのです。話し合う事よりも決める事。それと決める事よりも動く事。こちらの方があの状況では大事でした。もう一つは頭で決めない事です。決めるのは心で決める。水も電気も無い中で子供を受け入れるのは無理な事です。いろいろなりリスクがあり頭で考えると決められませんでした。朝と夕方状況が変わる、2 時間前と状況が変わる中で悩んでいる暇はなく、まず心で決める。そして頭で整理する。2 週間ずっと現地にいたので私も毎朝確認する事がありました。手足を動かし身体が動くか確認しました。心と身体のバランスが崩れた時人はおかしくなってしまう。心ではやる気はあるけれど、身体は動かない。心で決めて、頭で整理して、最後は身体に聞こう。身体が動けばまだいける。2 週間経つた時、身体が動かなくなりました。その時初めて休みを取り家に戻りました。

他にもいろいろな事がありもうすぐ 1 年です。ここまでこれたのは多くの方々の支えがあつたからだと思ひます。特にボランティアの方々、ロータリークラブはじめいろいろな団体の支援があつてこそです。安平町にはライオンズクラブがありません。青年団体も奉仕団体も無かつたので、全く機能しませんでした。JC、YEG、ライオンズ、ロータリーがある町はいいですね、と今はいろいろな所で言っています。奉仕団体は大事です。そういう団体が全く無い町は全部自分達でやらなければなりません。何かあつた時に皆で一緒になって手を合わせていく事は、何かあつた時に気付くものだと改めて感じた次第です。時間が限られている中、一部しかお話出来ませんでした。今度は高校生に伝える場面をいただけるという事ですので、未来ある子供たちのために、そして無い事を祈りながら何かあつた時に活かせるようになればと思ひます。本日は有難うございました。

—— 参加者の質問にも応えていただきました。



**謝辞**

**会長 高木昌人**

井内さん、今日はお忙しい中有難うございました。今日は飛び回っていらっやっていて羽田からまっすぐ来ていただきました。皆さんも今日はしっかり聞いていただいたと思います。僕自身、ずっしりときました。僕は頭で考える人間ですので、今日はガツンとハンマーで打ち付けられたような気分です。話し合いも大切ではあるけれども大事なものは決める事、そしてもっと大切なのは動く事。我々ロータリーの今後の活動に意義のある卓話だったのではないかと思います。そして、今月来月と市内高校生にはまた違った調整のもと話をいただけるのではないかと思います。メンバーの皆さんでご参加いただけたらと思います。今年度は防災に関わらせていただいているので、講師の方々には記念品として防災グッズを贈呈します。井内さんに差し上げてどうかと思いますがお受け取り下さい。



**次回例会案内**

**幹事 大下和志**

次回 13 日 (火) は、**休会**です (定款第 8 条第 1 節：祝日に準ずる/お盆)。  
 次々回例会は 8 月 20 日 (火)、移動親睦夜間例会「納涼例会 in 千歳盆踊り」です。担当は親睦活動委員会、ロータリー財団委員会。開会 18 時 30 分。場所はグリーンベルトおまつり広場 ローターアクトクラブテント前 (千歳市幸町 4 丁目) です。  
 続けて 8 月 27 日 (火) もご案内いたします。通常例会「米山親善大使イ・ヨンエさんを迎えて」です。開会 12 時 30 分、定例会場です。宜しく願いいたします。

**NEWS & TOPICS**

**長泉 RC 鈴木正明直前会長ご来訪**

8 月 8 日 (木) の 15 時頃、長泉 RC の鈴木正明直前会長がご家族で北海道旅行に来られ、高木会長の職場たかぎ歯科にお立ち寄りされました。



「来月 14 日の米山梅吉記念館創立 50 周年記念式典で、皆様にお会いできるのを楽しみにしております。気をつけていらして下さいね。」とおっしゃってりました。

突然のご来訪で驚きましたが、とても嬉しい出来事でした。

ちなみに右の写真は昨年 10 月の長泉訪問時の鈴木会長 (当時) です。(情報提供：会長 高木昌人)



**SCHEDULE**

8 月	13 日	休会 (定款第 8 条第 1 節:国民の祝日に準ずる/お盆)
	20 日	親睦夜間例会🌙🍷「納涼例会 in 千歳盆踊り」 [担当/親睦活動委員会 (委員長 高野 悠)、ロータリー財団委員会 (委員長 岩下 誠)] ※ポリオ街頭募金活動実施
	27 日	通常例会「仮/米山記念奨学生を迎えて」 [担当/米山記念奨学委員会(委員長 坂井 治)]
	30 日	防災講話事業「震災はきっとまた起こる」 [担当/理事会] ※千歳北陽高校訪問 9 時～10 時
<b>基本的教育と識字率向上月間</b> ■秋の交通安全運動「セーフティコール」 ■千歳中央 LC 創立記念例会 ■米山梅吉記念館創立 50 周年記念式典 ■地区大会パークゴルフ大会(地区)		
9 月	3 日	休会 (定款第 8 条第 1 節:祝日に準ずる/千歳神社例大祭)
	10 日	通常例会「地区大会ゴルフコンペの準備」 [担当/地区大会ゴルフコンペ実行委員会(委員長/佐々木俊英)]
	14 日	米山梅吉記念館創立 50 周年記念式典
	17 日	親睦夜間例会🌙🍷「親睦の夕べ in グランテラス」 [担当/親睦活動委員会 (委員長 高野 悠)]
	19 日	防災講話事業「震災はきっとまた起こる」 [担当/理事会] ※千歳高校訪問 14 時～15 時
	24 日	休会 (定款第 8 条第 1 節:同一週に国民の祝日)
	28 日	地区大会記念パークゴルフ大会 (恵庭 RC)